

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (子どもチャレンジ塾事業), 区分 (分業別主要事業, 未来プロジェクト事業, etc.), 事務事業No. (32334054), 課内No. (54), 所属部 (教育委員会), 所属課 (文化生涯学習課), 課長名 (杉山文男), 所属係 (生涯学習係), 担当者名 (谷嶋純子), 事業期間 (単年度のみ), 単年度繰返し (年度~), 期間限定複数年度 (年度~).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
大和地区小学校児童対象に、おもしろ理科、そば・食べ物作り、オカリナ、自然観察の講座について募集をする。
6月より各講座ごとに開講し、11月頃まで実施する。
食べ物作り講座については、保護者との協働の機会もある。
【担当者が行う業務の手順】
上記における各種事務、支出事務
【事業費の内訳】
・報償費 ・消耗品費

Table with 2 columns: (1) 事務事業の目的 (手段, 対象, 意図, 結果) and (2) 指標 (活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標) with units.

Table with 2 columns: (2) 指標値の推移 (20-28年度実績/計画/目標) and (3) 投入量(事業費)の推移 (20-28年度).

Table with 2 columns: (3) 投入量(事業費)の推移 (20-28年度) and (4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

【開始したきっかけ】
学校週5日制に対応し、スポーツ少年団未加入児童の居場所づくりとして、大和地区児童対象に旧大和村で発足した
【5年前との相違点】
児童数の減少が挙げられる

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
講座内容の見直しが求められている(同じものが続いているので違う講座を実施したいが、長く続く=人気があるという構図でもあるので、見直しが難しい)

事務事業名	子どもチャレンジ塾事業	事務事業No.	32334054	所属課	文化生涯学習課
-------	-------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 体験活動を通して、豊かな心、健やかな身体をバランスよく育成していくことは、本市の政策体系に結びついていると思われる <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 単位子ども会の活動で取り入れることが可能であるが、一定期間通して継続した体験活動ができることは少ない。そのようなことから考えて、体験講座を設定することは必要であると考え。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 大和地区小学生全学年を対象としているので適切である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 近年定着した講座で実施しているので、講座の見直しを含め、より多様な活動機会を設定していく必要があると思われる <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 大和地区はスポーツ少年団活動が盛んであるが、本事業を廃止した場合、文化的活動での児童の居場所づくりが難しくなると思われる <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 真壁コミュニティスクール、岩瀬わくわくサタデー 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他地区で実施している同様の事業に統合することは可能であるが、児童の移動等問題点がある <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 現在、事業費として計上しているのは講師謝金と最低限度の材料費(消耗品費)のみであるので、削減は難しい <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 講座開催時には職員の勤務時間内である <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 公平・公正であると思われる <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策 事業形態は現状維持でも、事業内容を見直し、効率よく多様な体験機会を設定していく必要がある	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項